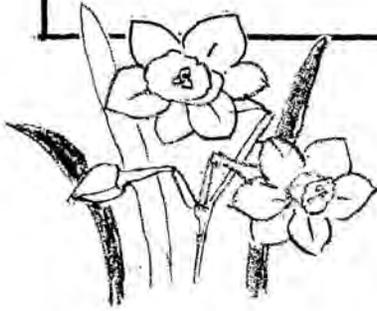




奈良・人と自然の会

〈わたしたちは大和の自然を愛します〉



新年を迎えて

会長 川井 秀夫

新年 明けまして御目出度う御座います。

ご家族健やかに、心穏やかな元旦をお迎えになった事と存じます。

干支では「戌子」の年は、他動的に急な出来事が現象化と言われておりますが、昨年来そんな兆候が内外共に現実味をおびつつあります。

日本ではこの7月。「環境サミット」が北海道で開催されますが、待ったなしの「地球温暖化」問題が具体的な形で、我々市民レベルで問われる事が予想されます。

何はともあれ、健康第一に心の弾力を失わず、如何なる変化にも対応出来る一年にしたいと思います。

当会も7年目を迎えました。活動ステージも多様化し、特に昨年3月には県の古都保存法に基づく里山林の整備作業が「なら山・奈良坂」の地でスタートし、柳生・国有林の整備と相俟って、成果を挙げる事が出来ました。自然工作グループも各方面に出前活動を行い、多忙な一年だったと思います。内部研修においても、森林インストラクター講座への参画、熊野古道一泊研修、歴史・文化を軸にした自然観察会も内容の濃いものになり新しい広がりを見せました。

また、助成の面でも、有名財団から認知を受け、我々の活動が市民権を得る証しとして、喜ばしい事象だったと存じます。

新年度は、現実をベースに垂直思考に立脚し、社会貢献活動においては、「地域との密着」、「行政との連携」、「子供たちの居場所づくり」等、与えられたステージで立体的な構築を試みたいと考えます。また観察会においても「歩く」「観る」「感じる」「考える」「会話する」等 五感を充分活用出来る企画を検討して参ります。

「少年老い易く・・・」。我々も加齢が進みます。まだまだの気概は衰えませんが、会の柱石として新しい力を渴望しております。シニア講座生の新入会にも期待が膨らみますが、全ての方々のパワーが必要です。今年も楽しく意欲的な悔いの無い一年にしたいと思います。どうかよろしくお願い申し上げます。



12月例会・忘年会報告 **古代豪族平群氏の里へ** 担当幹事：勝田・小嶺

10日(月) 快晴 9:30-14:40

朝は気温が低かったが、日中は小春日和にめぐまれた。近鉄生駒線、竜田駅前に9時半参加予定者全員が集合(忘年会予約のため事前申し込み)、総勢32名自己紹介後、出発。

平群町には60以上の古墳があり古墳時代の初期、中期、後期が存在する。駅から5分の**烏土塚古墳**は平群豪族の里が一望出来古代に思いを馳せる。町教育委員会で鍵を借り中まで入る。石組みの大きさは飛鳥の石舞台古墳に匹敵すると言われる。1度に全員が入るのは無理、2班に分かれて入る。6世紀末に平群氏が築造したとされる。この古墳は30年前開発のため潰される処を、住民運動で残した経緯があるそうだ。

次に向かった**柿塚古墳**の入り口は一人がやっと入れる狭さ、用意したロープを入れ勇氣ある、女性を初めに懐中電灯照らしながら10名程が次々に入った。次の**岩床神社**は巨大岩石信仰(陰石)で明治までは大変な賑わいを見せたそうである。次の**消渴神社**は泥の団子をお供えする風習が今も残り、団子作り場も用意されていた。病気が治癒したら本物を供えるとの事で両方が供えられていた。又、神社の広場にウラジロノ木の大木がありその落葉の様が見事でした。**西宮古墳**(ピラミット型・7世紀中-後半)を見学後、昼食。

午後からの**平群神社**では鳥居についてのレクチャーが川井会長から有り、**吉備内親王・長屋の王墓**、**三里古墳**を見学し最後に**船山神社**(陽石)に詣で、くまがしステーションで観察会を終了した。尚、郷土史家の方に案内をお願いしていたが、急病の為この近辺の歴史に詳しい会長に解説をお願いした。

参加者：32名(市村勝、岩田利、大石、川井、北、篠原、豊田、平塚、古川、弓場、尾上、市村米、勝田緑、斎藤、野田、林、福谷、前木、豊島、松浦、宮沢、森口、横井、吉村、小田久、山田、勝田均、小嶺 非会員：逢阪、久保、竹内、橘、)

観察会—小田さんの資料より—

〈実がなっているもの〉

ネズミモチ、トウネズミモチ、クロガネモチ、シャシャンボ、サネカズラ、クコ、ナナミノキ、ウラジロノキ、アリドオシ、サンシュユ、イヌホオズキ、オオニシキソウ、アオツツラフジ、カナメモチ、ヤマホロシ他にこの付近に多く有るアオモジのみ木、ユーカリの大木3本、船山神社の珍しいカエデ。

〈鳥〉

セグロセキレイ、ハクセキレイ、メジロ、ジョウビタキ、チョウゲンボウ、キジ、ホオジロ、コゲラ、カワラヒワ、オオタカ(番)、アオサギ、コガモ、スズメ、モズ、ムクドリ、ヒヨドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラスアオジ、エナガ、ウグイス、キジバト、

忘年会

3時～5時45分。道の駅「くまがし」2階。26名（男性12名、女性14名）の参加をえて、川井会長の挨拶の後、各々の和やかな歓談がつづき、後半はカラオケでおおいに盛り上がった。未だ歌い足りない人もいたが、最後に皆で肩を組み合い「ふるさと」の大合唱となった。特にそのときの全員の顔はすばらしく、感激した。この一年の締めくくりに相応しい場となった。（小嶺敏勝 記）

柿塚古墳探検隊

吉村 さつき

世話人の方より説明を受けいよいよ中に入る事になりました。狭い入り口に安全の為ロープも下ろされました。一番目は豊島隊長……背面で入りくりと向きを変え今度は匍匐後進。中は思った以上に広くライトで照らすと天井はきらきらとお星様のように輝いています。古人の偉大さも充分に感じ取ることができました。皆スマートで引っかかることなく無事脱出……
どろどろになり子供の頃に戻ったようで楽しい古墳内見学でした。

感謝感謝！ 逢阪雅子

今日は本当に楽しかった……
有難うございました。
お天気に恵まれ！人に恵まれ
見晴らしの良い烏土塚古墳
穴の中の恐怖の柿塚古墳。でも、綱とライトと人の和が心に暖かく残りました。
久しぶりに心が晴れお弁当の美味しかった事。感謝、感謝です。

平群再発見

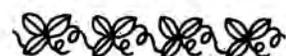
齋藤 和子

今日は平群のご案内そして忘年会をありがとうございました。平群は全く初めての土地でした。こんな景色の良い町がちよっと足を伸ばしたらあったんですね。
いつも明日香方面ばかりを歩いていますので今日はなんか新鮮な気分になりました。知らない土地を歩くと楽しいですね。
忘年会も皆さんとおしゃべりがゆつくりできて楽しいひとときを過ごしました。ありがとうございました。

自然俳句欄

色葉散る平群の神は磬に棲む いわ 秀夫

12月例会。平群谷には神々と古代豪族が多く眠る。
晩秋の余韻が残り、「道の駅」の忘年の杯に快く酔う。



ならやまプロジェクト・レポート 11.12月



11月3日(土) 快晴 参加者合計 34名 (内会員15名 児童及び保護者19名)

奈良県森林環境教育事業の一環として、児童(小学生)と保護者19名を受け入れ、里山体験教育を実施した。

参加者19名は、里山観察、竹の伐採体験、竹工作(芋掘り用のスコップ作り)の後、本日の目玉「芋掘り」に挑戦、畑は子供たちの歓声で溢れた。2時、サツマイモのお土産と竹カップや竹スコップを抱えて、意気揚々と引き上げていった。

芋掘り後の畑を整備し、玉葱苗500本を定植。 3時半 解散

11月28日(水) 曇り 参加者 12名 (内 女性2名)

10時作業開始

B地区の藪化していた斜面一帯の枯竹・倒木の整理が完了した。すっきりとした竹林に生まれ変わり、昔の里山の風景を取り戻しつつある。6ヶ月の活動の成果である。

次回以降からは、C地区の山林整備にかかる。野鳥保護の見地から、山作業は3月までが主な活動期間となる。枯・倒木の整理、笹の刈り取り、遊歩道の設置など、景観保全と自然観察のためのインフラ整備を行なう予定。

畑では大根がよく育っている。正真正銘の無農薬野菜とて、大変好評。肥育したものから各人で持ち帰る。今後1月一杯までは収穫できそうである。春に向けて、田中さん提供のエンドウ、レタス苗の定植、ホウレンソウなどの春野菜の種播きを行なう。

畑の北に隣接する空閑地に、西谷さん持参の、サザンカ、ヤブツバキを植えつける。

3時終了

12月15日(土) 晴 芋煮会 参加者30名

(内 会員・家族19名、奈良コープ10名、ほか1名)

10時集合 午前中はC地区の里山整備。冬枯れの山は見通しがよく作業環境は良好。枯・倒木の整理に取り掛かり、あわせて歩行路の検討など開始する。奈良コープの菜種プロジェクトのメンバーの方10名も今日が活動日、芋煮会にも合流する。

12時、女性陣によるイモ煮鍋が仕上がったのを皮切りに、一気にパーティムードに移行する。ダンボール・オープンで焼いた手製のピザ、パーベキュー網には、焼き鳥、ホッケ、イカ、鶏の足、果てはイノシシ鍋などなど、思い思いに持ち寄った「この一品」のオンパレード。

持参した銘酒、銘酎がほど良く回って来れば、この一年の活動の手応えを確かめ合い、今後への思いを時の経つのを忘れて語り合ったことでした。平城山という恵まれた立地条件と美しい風景のなかで、自然を感じながら、こころざしを同じくする方々とのつながりの輪が大きく広がって行くことを実感いたしました。3時解散。

お世話いただいた方々、ご参加いただいた皆様、有難うございました。

来年もさらに良い年となりますようお祈りいたします。

まだ参加されていない会員の皆様、早い機会にぜひ一度、ご体験下さい。

(古川祐司 記)

「はなはなピレッシ」親子自然体験会

阿部 和生

場 所：奈良市荻町（上荻観光農園）

関係者：主催＝きゃんす家、後援・協力＝奈良市、奈良・人と自然の会

実施日：平成19年12月2日（日）快晴

目 的：自然環境の中で親子がふれあい楽しみ学ぶ

19年8月に実施した「バームクーヘン・木工教室」の申し込みがあまりに多かったのでそのときの選にもれた人を対象に、実施された。寒い時期であるので「隠れ家づくり」の一部メニューを変更して行った。「奈良・人と自然の会」から 小嶺、岩田、阿部の3名と大和高田の竹本氏で、「隠れ家作り」の指導、助言を行った。この日19家族71名の参加がありバームクーヘン作りと隠れ家作りに分かれた。竹、わら、のこぎり、ハンマー、そして縄結びなど日常使用しないものに触れての作業は、最初戸惑いがあったが、最後は時間オーバーでもなかなか離れられないほどの熱中振りであった。「奈良先端大学」の学生諸君がサポートしてくれたので混乱なく進行した。アンケートでも満足度が100%で好評であった。午後に準備していた「階段補修作業」や「苗木の植樹」までは手が回らなく中止した。



お目出度い鳥鶴の中の鶴「丹頂」

小田 久美子

ツルは昔から瑞鳥とされ、鶴は千年亀は万年とおめでたいことの象徴でした。こんな小咄があります。『ある時縁談が整い、カメの娘がツルの息子のところへお嫁入りすることになった。親たちはいい縁組だと大喜びなのだが、カメの娘は喜ぶどころか悲しそうに泣いている。「どうして泣くか」と親のカメが聞くと娘は「嫁入りするのはうれしいが九千年も後家を通さなければいけないと思うと泣けてくる」と答えた』。



中でも純白と赤と黒の端正な姿のツル丹頂は、日本で繁殖する唯一のツルでもあります。今は北海道でしか見られないのですが、昔は雁などと同じように日本中で見られた鳥だったようです。明治時代に乱獲され、生息地の湿原が開発され一時は絶滅したかと思われました。大正13年に釧路湿原で十数羽発見され、その後天然記念物に指定されましたが太平洋戦争と共に忘れられました。昭和55年釧路湿原が日本で最初のラムサール条約の指定地になり、その後国立公園に指定、ご存知日本野鳥の会が土地を買い取りサンクチュアリを確保したり、地元の人たちの地道な保護が取り組まれています。今では世界中でも2千羽程の貴重な鳥になりました。



「斑鳩より」11/20 ツグミ初認。11/24 初霜。12/2 シロハラ初認。
12/8 ニューナイスズメ斑鳩の神南のエノキの大木に8羽。(毎朝います。)
12/12 信貴山大門池にオシドリ約20羽いました。(勝田)



原則 前日の午後7時前のNHK天気予報で降水確率(午前)60%以上の場合は中止

『ならやま里山林プロジェクト1月の予定』

場所 奈良市奈良坂町・佐紀町の県有林 (JR 平城山駅下車徒歩10分)
—「ならやま会館」前の道路(ならやま大通り)の南側に広がる林地—
日時 1月10日(木)、19日(土) 一般活動日
1月31日(木) 山整備作業日
(いずれも 10時集合、終了予定3時)
集合 現地ベースキャンプ地 マイカー7~8台の駐車可
交通 ①近鉄奈良駅 バス13乗場9:36発 高の原行
②近鉄高の原駅 バス1番乗場9:38発 JR奈良行
①②とも佐保台西口、または平城大橋下車 徒歩約7分
携行品 弁当、飲み物、防寒具、軍手 (用具は現地に用意しています)
活動内容

里山林整備、遊歩道整備・放置田畑の草刈
畑手入れ、花植栽地整備

冬季(1~3月)の里山整備作業日の増加について

山作業は冬場に重点的に行いますので、各月末(通常月の予備日)を、冬季に限り、里山整備のための活動日として追加します。

花畑作り募集

この景観にふさわしい花畑を作りたいと思っています。やりたい方を募集します。また、山野草類の育成についてアイデアや苗をご提供下さい。また果樹の苗などもいただければ幸いです。

(問合せ先 古川

小嶺)

【奈良忍辱山森林整備作業】

(場 所) 奈良市忍辱町、国有林二次林(忍辱山円成寺駐車場)より徒歩10分

(集合場所) 国道369号線 忍辱山円成寺駐車場

(奈良交通バス停 円成寺口と忍辱山円成寺の間)

(日 時) 1月15日(火)、2月15日(金)。

【集合時間10:20。終了予定Pm2:45ころ】

(天 候) NHK天気予報 (前日PM7時前)60%以上中止します。

(交 通) 奈良交通バス 近鉄奈良駅前バス乗り場④番 9:40 柳生・月ヶ瀬温泉行き

(持ち物) 作業のできる服装、昼食、飲み物、手袋、

各種用具は、準備していますが、お手持ちのものあれば持参ください。

作業のしやすい季節です。ご参加お待ちしております!!

(連絡先) 弓場厚次

明石嘉一郎

阿部和生

12月はあいにくの雨で、作業できませんでした。

新春講演会と自然観察会

日時: 平成20年1月20日(日)

集合: 近鉄奈良駅 行基菩薩像前 午前10時

テーマ: 「奈良公園の植生」—遷移と鹿害の視点から—

講師: 元天理高校生物科教諭 森本 範正氏

担当: 川井()・林()・三木()

*詳細は別紙(チラシ)をご覧ください。

<2月の予定>

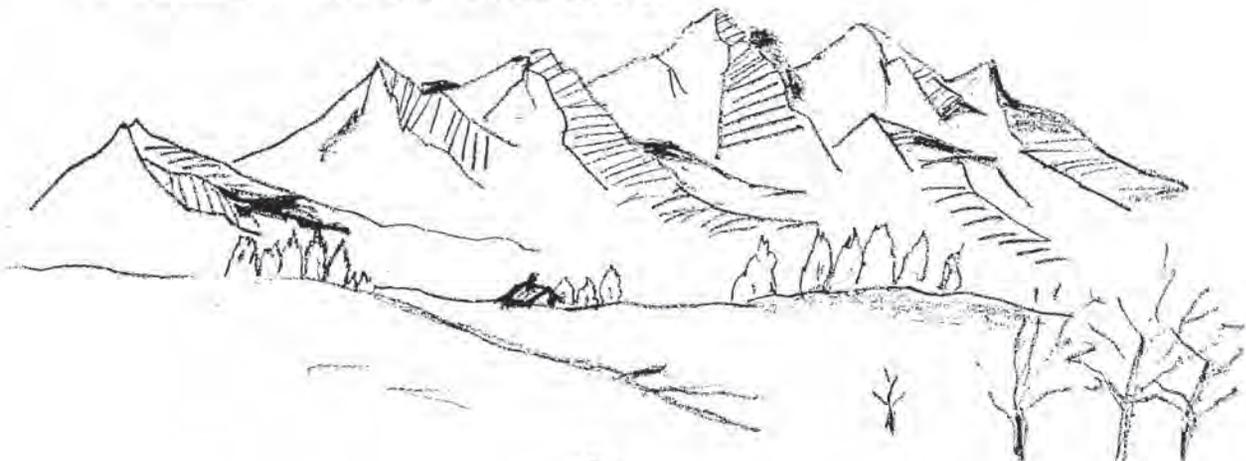
2月度例会「野鳥観察会」

—ウワナベ・コナベ古墳・なら山里山付近—

日程: 2月22日(金)

担当: 小田()・勝田()

*詳細は会報第73号(2月号)でお知らせします



協力活動「いこま棚田クラブ」1月活動日 ご案内

活動日…1・6(日)、1・13(日)、1・20(日)、1・28(月)

「大トンド祭り」13日です。大勢で新年を祝いましょう。

28日は里山整備です(里山整備 初めての方も歓迎・用具準備しています)

集合場所：近鉄生駒駅下車 南口側ケーブル駅西隣セブンイレブン前

集合時間： 9時 現地までタクシー他分乗で移動。

持ち物： 飲み物、弁当、 作業スタイル

事務局……大寺道代

平成19年12月度幹事会議事録

日時：12月18日(火) 13:30-16:45

場所：奈良県女性センター出席者：13名 司会 古川 書記 小嶺

『報告事項』

- (1) 会員数 94名 現金残高 106,270円
- (2) 11月度例会「晩秋の奥飛鳥を訪ねて」：11月10日 参加者17名
- (3) オプション企画「熊野古道を訪ねる」：11月19・20日 参加者32名
- (4) 「市民ふれあい交流事業」：11月18日 高の原サティ 参加者11名
- (5) 12月度例会「古代豪族平群氏の里へ」及び「忘年会」：
12月10日 参加者32名 忘年会26名
- (6) 「奈良忍辱山森林整備作業」：11月15日 参加者8名 12月13日 雨天で中止
- (7) 「ならやま里山林プロジェクト」
11月28日 参加者12名 Cゾーン竹林整備ほぼ終了
12月15日 参加者29名 午前；作業、 午後；いも煮会
- (8) 「生駒棚田クラブ」：11月5回活動 18日大阪みどり公社のハイキングを実施
- (9) 「親子の自然観察会」：12月2日 当会から4名参加 奈良市針「花はなビレッジ」
- (10) 「黒髪山自然塾」：11月25日 当会から7名参加 黒髪山59名対象ドングリ工作

『確認事項』

- (1) 「新春講演会と自然観察会」：20年1月20日 奈良公園の植生
- (2) 2月度例会「野鳥観察会」：2月22日 ウワナベ、コナベ、なら山里山付近予定
- (3) 3月度例会「早春の山辺」：3月15日

編集担当：勝田 均

TEL&F

【当会の行事における傷害事故等については個人負担とし、当会は賠償等一切の責任は負いません】

奈良・人と自然の会事務所

会長 川井 秀夫